

## 第100回全国図書館大会東京大会

### 第5分科会 大学図書館

# 大学の知の発信システムの構築

—機関リポジトリの更なる発展をめざして—

■日 時 2014 (H26) 年 11 月 1 日(土) 14:00~17:30 (13:00 受付開始)

■会 場 明治大学 駿河台キャンパス

機関リポジトリは、大学図書館が大学の情報インフラの中核を担い、大学の知の発信システムの拠点として機能するために不可欠なシステムとなっている。現在の機関数は400を上回り、蓄積された総コンテンツ数も130万件を越えている。一方、諸外国においては、学術論文や学位論文にとどまらず、オープンエデュケーションを支える教材や、論文の元となった研究データの流通や共有を促進するためのインフラとしても重要性が再認識されている。このような動向を踏まえ、2013年10月、大学図書館と国立情報学研究所の連携の下に「機関リポジトリ推進委員会」が設置された。

本分科会においては、機関リポジトリ推進委員会の活動についてと、JAIRO Cloudの現状と今後についての二つの講演を中心に、大学の知の発信システムの構築を支える大学図書館の役割について、議論を深めたい。

- 1 加藤信哉氏(筑波大学附属図書館)  
機関リポジトリ推進委員会の活動について
- 2 尾城孝一氏(国立情報学研究所)  
JAIRO Cloudの現状と将来展望
- 3 真中孝行氏(筑波大学附属図書館)  
既存機関リポジトリからJAIRO Cloudへの移行(筑波大学)
- 4 三角太郎氏(千葉大学附属図書館)  
既存機関リポジトリからJAIRO Cloudへの移行(千葉大学)
- 5 高野沙弥氏(田園調布学園大学図書館)  
小規模大学におけるJAIRO Cloudを利用した機関リポジトリの構築と運用
- 6 ディスカッション

\* 最終締切は、10月14日まで延長されています。ご参加をお待ちします。